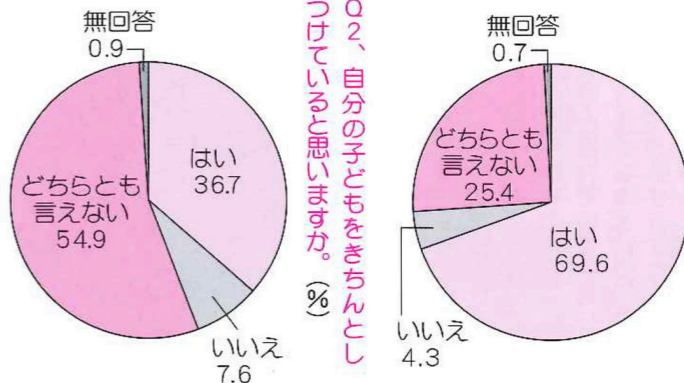


特集 家族の関係を

深めよう!

家庭のしつけを見直そう!

今年度の特集は「家族の関係を深めよう!」という年間テーマで取り組んでまいりました。3学期は、親子の関係の骨格となる家庭のしつけについて見直しを考えてみたいと思います。家族は親子と子どもが一つの屋根の下でともに暮らし、親子ともを一人前の大人として社会に役に立つようにならなければならないように育てていきます。アンケートを通して、少しでも家庭のしつけを見直さすきっかけになればと思います。

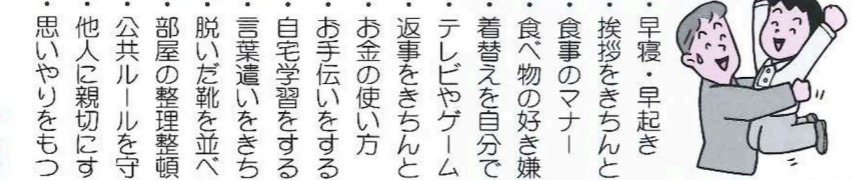
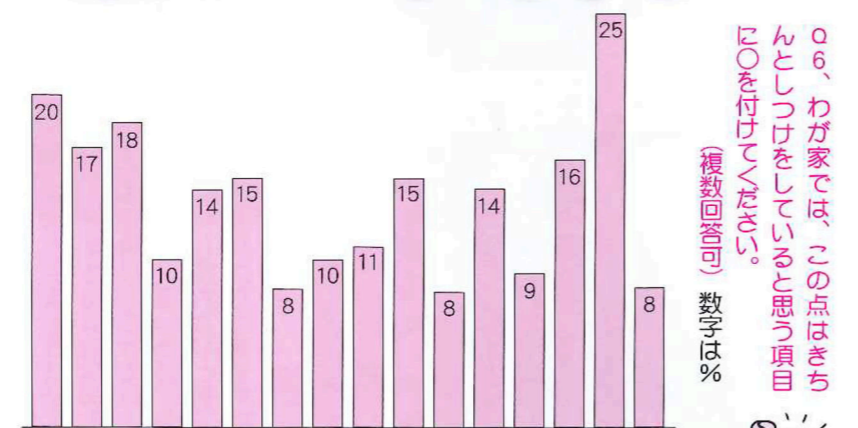
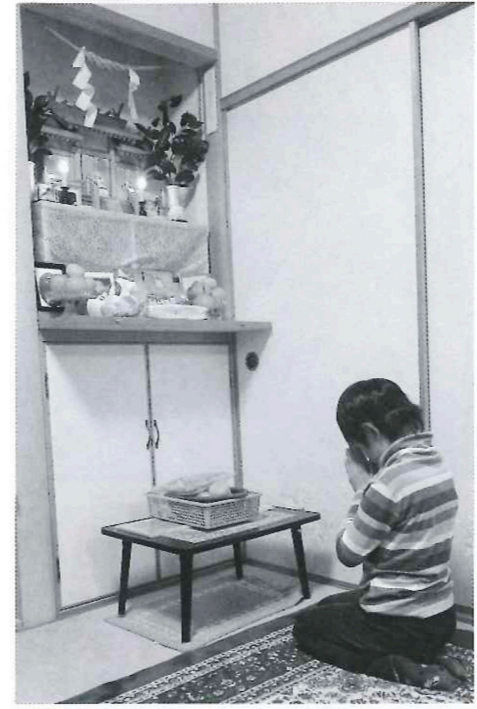


- 挨拶・礼儀
- 基本的な生活習慣・マナー
- 時間厳守
- 人間関係の大切さ
- ものを大切にしない
- 人を傷つけない
- 嫌なことを言わない
- 他人を思いやる
- 計画性をもった生活
- 姿勢をよくする
- 目上の方に敬意を払う
- 善悪の判断ができる
- 恥ずかしくない行動ができる
- 命の大切さ
- 金銭感覚
- 社会的なこと
- ご先祖様を大切にすること

- 挨拶
- 公共のルール
- 思いやり
- 他人に迷惑をかけない
- 食事のマナー
- ゲームなどは宿題が終わってから
- 本人が分かるまで話し合う
- 必要なら真剣に叱る
- 電話のかけ方、対応
- 目上の人の言うことをきく
- 体調管理
- 時間を大切に
- 早寝・早起き
- 自分が手本になって子どもにその姿を見せる
- 自分でできることは自分でする
- 兄弟げんかをしない
- 命の大切さ
- 笑顔

Q5、Q2で「いいえ」と答えた人々のような点でできなく思っていますか?

- 整理整頓、挨拶
- 親が挨拶を促さないと、挨拶をしない
- 目の届かない場所でのこと(公園でのボール遊びなど)
- 人がされたら嫌なのに、自分が嫌なことをしても謝らない
- 姿勢が悪い
- 食事のマナー、箸の持ち方



風呂あがりになったら着替えるの? ランドセルもっと大事に使って? 特等席絵本よむならひびの上におく? 子どもに速さに息がきれさかあがり昔はラクラクできたのに皆勤賞元気が一番うれしいよ! いつまでも私はあなたの親だからいつのまに私の靴より大きいね! 親になりやとわかった親(ママ)「ありがたう」伝わらないよ、言わないとスマホよりこっちを見て、お母さん

Q7、わが家で力を入れているしつけ、エピソード等をご記入ください。

● 挨拶はしっかりすることを、そこそこ守っていますが、学校帰りに、挨拶をしたら無視されたら悲しんでいました。私は、「その人が気が付かなかつたのかもね」と、フォローしましたが、大人どうしでも、挨拶ができる町になったらいいなと思います。

● ゲームの時間を決めてタイマー時計を持たせて、もし守らなければ翌日はできないというルールをへりました。

● 親が変われば子どもが変わるとい話を聞いたことがあります。家庭の中心であるお父さんを敬うようにしつけています。

● わが家では、家の大黒柱であるお父さんを中心にするのを一番にしています。お父さんのおかげという何をかにつけて子どもたちに教えています。お父さんを尊敬し、何でも話し合える環境作りに力を入れています。

アンケートを行った結果、75.1%という高い回収率でした。皆様のご協力、ありがとうございました。しつけの仕方それぞれ家庭で様々だと思いますが、全般的に自分が親からきちんとしつけを受けているかと思う人は、自分の子どもにもきちんとしつけをしていこうという感覚があるようです。子どもは親の背中を見て育つと言います。家庭の中で、子どもたちをきちんとしつけるためには、まず、自分が手本になれるように身を正すことだと感じました。親がだらだらしていても、子どももだらだらするでしょう。親が散らかせば、子どもも真似するでしょう。子どもをしつける、一人前に育てるという責任をそれぞれの親が自覚し、世の中の役に立つように子育てをし、社会が形成される一端を担っていると思います。少しでもしつけについて考え直すきっかけになればと思います。